

こども総本部関連の報告について

1 こども総本部の始動について

米子市こども総本部が、令和3年12月6日、ふれあいの里1階で始動した。子ども・子育て支援事業計画に記載のとおり、医療・保健・福祉・教育等、子どもに関係する各分野において、妊娠期から乳幼児期、学齢期と成長する中で、切れ目なく支援することをさらに推し進める体制となり、これにより相談や手続きを行う場所が集約化され、利便性が向上したほか、これまで以上に情報共有や職員間の連携が進み、迅速な福祉的対応を行うことができた。

令和4年度においては、定期的に小学校や保育施設等を訪問し、就学に向けた助言・支援を行う「1年生アドバイザー」の配置、不登校児童生徒の学習支援・自立支援拠点である「米子市教育支援センター『ぷらっとホーム』」の開設、スクールソーシャルワーカーの増員（3名→8名）による教育・福祉との連携強化など予定している。

今後においても、異なる分野間での相互理解を深め、一体的な対応を拡充しながら、子どもたちの育ちを支えたい。

2 公立保育所の統合建替えの進捗について

子ども・子育て支援事業計画に記載した公立保育所の統合建替え構想について、令和3年度の進捗状況は以下のとおり。(1)～(3)以外の園については、現在、時期や場所等について検討を進めている。

(1) 淀江保育園・宇田川保育園統合園

令和4年3月完成。同年4月、「淀江どんぐりこども園」として統合、4月1日開所。

(2) 米子福祉会立巖保育園・春日保育園統合園

巖保育園の新園舎は令和3年11月完成。旧園舎の解体、駐車場整備等を行い、令和4年2月全園完成。令和4年4月1日「箕蚊屋保育園」として統合。

(3) 東保育園

保小連携を主な目的とし、近隣の啓成小学校敷地内に建設予定。小学校は、令和4年度開校に向け建設中。東保育園は、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度建築工事に着手、令和6年4月開所の予定。

3 新型コロナウイルス感染症について

1月下旬頃より市内での感染が急増。特に、第6波オミクロン株は子どもへの感染が多く見られ、保育施設等においても休園が相次いだことから、保育機能の継続のため、1月27日（鳥取県感染急拡大警戒警報発出日）より登園調整のお願いを発出し、3月11日まで継続した。この間の登園調整状況は、公立保育所では、2月上旬では3割程度、3月上旬では1割程度控えられたご家庭があった。第5波までと異なり、第6波では認可保育施設では延べ約50施設が感染確認により休園となった。保育施設等では、鳥取県作成のガイドラインを参照し、感染予防を徹底しながら運営を行っている。